

Lend a Hand  
手を貸そう国際ロータリー第2750地区多摩東グループ  
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

## Weekly Report



クラブ会長テーマ 手を貸そう! そして強く握ろう!

2003-10-29 第627回例会 NO. 14-16 2003-11-5 発行

◎司会 SAA委員会 正房 正孝

◎点鐘 会長 大松 誠二

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」  
ソングリーダー 吉沢 洋景◎お客様紹介 会長 大松 誠二  
なし

◎会務報告 会長 大松 誠二

- ・先週10月20日(月)に行われました特別事業「障害者のためのテニススクール」について、実行委員会、そして会員の皆さん、本当に御協力ありがとうございました。参加者の数と天気は、直前まで心配していましたが、私たちの気持ちが通じたようでした。参加者の全ての輝くような笑顔がそれまでの苦勞を吹き飛ばしてくれました。お礼状もいただいておりますが、私たちこそ感動と元氣をもらったことに感謝したいと思っています。会員の皆さんも心地よい汗をかいたのではないのでしょうか。まだまだ、特別事業はつづきます。今年度のテーマは「手を貸そう、そして手を強く握ろう」です。また、一緒にいい汗をかきましょう。
- ・先々週の理事会で指名委員会を決定し、委嘱しました。9名の委員の方のお名前は週報に載っております。次期役員理事の指名をお願いします。
- ・入院中の小塚博会員の近況写真が週報に載っています。リハビリも順調の様子、一安心です。

◎幹事報告 幹事 藤本 吉文

- ・東京多摩RCより例会変更のお知らせが来ています。
- ・11月12日の例会場がこの「たまつばき」より「アポロの間」に変更となります。
- ・11月、12月の例会と事業予定表を配布しました。

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 平野 行廣

- ・会員総数 44名
- ・出席義務者数 43名(出席免除者4名)
- ・出席者数 35名
- ・欠席者数 8名(事前MU0名)
- ・出席率 81.40%
- ・欠席者:北村 幸彦、小泉 博、佐伯 和廣、関岡 俊二、菅井 信夫、高村 弘、高野 範城、由井 眞司
- ・補填MU:小城 章員 10/21 東京多摩RC  
吉沢 洋景 10/28 東京町田中RC

10/15 最終訂正出席率 83.33%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 宮村 宏

- 大松 誠二 内田 凸さん、入会おめでとうございました。仲良くやりましょう。
- 藤本 吉文 内田 凸さんの入会式楽しみです。
- 吉沢 洋景 娘を嫁に出しました。クラブより祝電を頂きまして有難うございました。
- 藤原 正範 なかなか出られなくてゴメンナサイ。議員活動を一生懸命やるほどロータリー活動が出来なくなるので～す。でも、何とかガンバって出るようにします。その時は笑って受け入れて下さいネ。
- 吉沢 洋景 11月11日の多摩市民清掃デー、「乞田川をきれいに。」多数参加お願い致します。
- 津守 弘範 内田さん、入会おめでとうございました。
- 加藤喜三郎 内田さん、ご入会おめでとうございました。
- 小林 正 特別事業 大成功!私は出席できず申し訳ありませんでした。
- 村上 久 お陰様でカセットテープの売り上げが良い

東京多摩グリーンロータリー・クラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号  
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491  
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】大松誠二 【幹事】藤本吉文

【クラブ会報委員長】赤尾恭雄 【副委員長】正房正孝

【委員】遠藤二郎・平野行廣・佐伯和廣・澄川昇・高木淳光・由井眞司・小田泰樹

ので・・・ありがとうございます。

澄川 昇 小坂さん、ありがとう。元気になったような効き目です。

足立潤三郎 内田さん、入会おめでとうございます。ロータリー教えます。ゴルフ教えて下さい。

宮村 宏 特別事業Aグループ車椅子テニス、皆様のご協力感謝致します。

した資料を参照して下さい。多数の参集をお待ちしています。

◎ロータリー財団委員会 委員長 宮本 誠

寄付を約束された方は、11月が財団月間になっておりますので、当月中にお支払い頂けるとありがたく存じます。よろしくお願いいたします。

本日の合計¥23,000(累計¥336,357)

◎特別事業実行委員会 委員長 宮村 宏

特別事業Aグループ「障害者のためのテニススクール」、当日は天気も良く、成功裡に終わりました。応援に来ていただきありがとうございます。障害者の人と触れあうことができ、勉強になりました。



◎社会奉仕委員会 委員長 伊藤 英也

当クラブでは11月11日午前9時から11時までに実施される「乞田川清掃」に参加することになりました。別に配布した「清掃参加のお願い」を参照のうえ、多数ご参加下さるよう願います。



◎JGFR東京大会実行委員会 委員長 海野 英一

11月10日に開催される予定です。全国から120名くらいが大会に参加の予定です。集合時間その他のことは別に配付



◎新会員入会式 会員増強委員会

・内田 忸会員 (昭和20年9月10日生)

【(有)山の手商事 代表取締役】

- ・式次第は、例会の席上配布された「新会員入会式」とおりである。恒例により、内田新会員の紹介に始まり、入会証書等の授与がされ、会長、推薦人より推薦、歓迎の言葉があり、内田新会員の挨拶で締めくくられた。



- ・内田新会員の簡単な自己紹介、所属委員会等は以下のとおりである。  
アドバイザー：加藤喜三郎会員、津守 弘範会員  
所属委員会：親睦活動、社会奉仕委員会  
趣味・スポーツ：旅行、ゴルフ (シングル)

(自己紹介)

内田会員は、地元で生まれ育った。祖父の代までは、鍛冶屋をしていた。名前は、漢数字の九の下に口を書いて「たかし」と読む。内田新会員が生まれた当時は有識者に名前を付けてもらう習慣があったらしく、こ



の名も近くに住んでいた人が付けてくれたものである。その人も亡くなってしまい、命名の由来や「たかし」という読み方についても聞く術がなく、自分でも分からない。昭和44年から平成12年まで32年間、防災設備の会社でサラリーマンをしていた。3年前にやめて現職にある。趣味は上記のとおり旅行とゴルフで、ゴルフには良く行く。家族は妻と高3の娘がいる。娘は、大学受験を控え塾通いをしている。当クラブの会員となり名誉に感じている。これからは、クラブと地域のために活動をしたい。

◎10月誕生祝・・・おめでとうございます。

親睦活動委員会

大松 誠二、伊澤ケイ子、田中 實各会員



◎点鐘

会長 大松 誠二

(例会担当：小田 泰機)

11月は、ロータリー財団月間

ロータリー財団の起源は、1912～13年、クリーブランドロータリー・クラブ会長を経て、1917年、第6代国際ロータリー会長を務めたアーチ・C・クランプによって提案された「非常時基金」である。1928年、ミネソタ州ミネアポリス国際大会でこの基金を「ロータリー財団」と改称した。その後、1947年、ポール・ハリスの死が財団の転換点となった。ポールの死の数日前、財団管理委員会は、財団のために米貨200万ド



ルを集めるという 1938年の指示事項を復活することを決定したばかりだった。財団は、「ポール・ハリス記念基金」を設け、ポールに敬意を表したいロータリアンに対して、財団強化のために寄付を要請した。翌年7月までには米貨130万ドル以上が寄付され、1947年には最初の財団プログラムが実現された。それは、「高等研究奨学金」と呼ばれ、1年目はアメリカ、ベルギー、イギリス、フランス、メキシコ、中国の学生18人が選ばれ他国で専門分野を勉学した。当時は、この人達が「ポール・ハリス・フェロー」と呼ばれ、これが最初のロータリー国際親善奨学生だった。国連難民高等弁務官だった緒方貞子さんは、1951年、国際親善奨学生としてワシントンD.C.に学んだ。

「国際ロータリーのロータリー財団」活動に理解を深めよう！ そして、その活動に参画しよう！

ポール・ハリスを我々の心に！ Part 11

ポールは、父についてあまり多くの思い出はなかったが、ウォリングフォード時代、偶には日曜日の午後に遠足に連れて行ってくれたり、木いちご、黒いちご、ブルーベリー摘みに出掛けることはあった。ある時、学校をさぼって森で遊んでいると父とぼったり出会ってしまったが、父は直ぐに木の枝で即席の鞭を作りポールを打った。

しかし、事業に失敗した父は、無言で庭を散歩しながらいろいろ考え込んでいることが多かった。自信を取り戻して、親戚、友人、家族達の尊敬を受けるにはどうしたらよいか、悩んでいたようだった。しかし、何と言っても最大の問題は再建の資金作りだったが、最早、それを祖父に頼ることはできなかった。

一時、父は発明に凝ったこともあったが、結果はどれ一つ百万長者の夢を叶えてくれるものではなかった。他にも、訪問販売員をやったり、玩具工場に勤めたり、新聞記事を書いたりしたが、どれもうまくいくことはなかった。

或る夏の午後、ポールは、家から1ブロック程のところで、ウォリングフォード駅の方から子供連れで小さな靴を持った婦人が通りを渡ってくるのに出会った。綺麗に着飾った見慣れないその婦人は、破れた帽子に泥だらけのシャツ、それに継ぎだらけのズボンに裸足のポールに近づき、「あなたはポール・ハリス？」と尋ねた。ポールは口籠もって「はい、おぼさん」と答えると、その婦人は急にポールを抱いて熱いキスをしてきた。その顔は

涙で濡れていた。「母さんよ。可愛いポール」という言葉に、ポールはその婦人によく似た人の微かな記憶がよみがえり始めた。祖母が夜の祈りの中で「神様、パパとママが何時までも幸福であるように」と祈っていた「ママ」その人だと思い当たった。

思いがけなく母と妹ニーナ・メイに再会したポールは二人を連れて祖父母のもとへ急いだ。

しかし、母はそれ程長くはウォリングフォードには居なかった。音楽教師の母は、決して家庭的ではなく、祖母の目には夫の収入で家庭を切り盛りできない浪費家と映っていたようだが、その責任は父の不甲斐なさと祖父の加護に甘え続ける優柔不断な性格にもあった。

結局、ポールが一つ屋根の下で親子揃って温かい家庭を味わえたのはたった二度だけの、それも短い期間だけだった。

**【ロータリー知識】 入門編**  
ロータリー活動とは

世に有益な職業から、一人一業種で選ばれた会員(改定細則後日別述)が、毎週1回の例会に集まって、お互いが師となり徒となって、集団で奉仕の心を学びつつ、自己研鑽をし、例会の場で高められた奉仕の心で、それぞれの個人生活、職場、地域社会、国際社会で奉仕の実践をすることです。お互いが師となり徒となるためには、ロータリアン同士がすべて平等である必要があります。大企業の社長であろうと、中小企業のオーナーであろうと、ロータリークラブにおいては全く平等なのです。平等でなければ、お互いに先生になったり生徒になったりして切磋琢磨することは出来ません。集団で奉仕の心を学び、自己を高めていきます。そして高まった奉仕の心をもって、例会場を出て、それぞれの個人生活、職業生活、地域社会で、奉仕活動を実践するのが、ロータリーの活動です。

例会内の活動とは、事業上の発想の交換を通じて自己改善をしながら、奉仕理念を研鑽することであり、それを、クラブ奉仕と定義しています。そして、例会で高められた奉仕の心をもって、例会外の活動、すなわち奉仕活動の実践をするわけです。

ロータリーの職業分類制度には、ロータリーの奉仕理念をなるべく多くの業界に広げていこうという意図があります(所謂、ロータリー大使説)。少々問題はあったとしても、その業界にはびこっている悪い商習慣を修正する

為には、ロータリアンをその業界に派遣して、その業界の倫理基準を高める必要があるのです。問題になる業種にこそ、ロータリアンを送り込んで、その業界の倫理基準を高めていく努力も必要ではないのかと思います。

(コーナー担当：遠藤 二郎)

＜秋の散歩道＞

